

授業科目 言語聴覚障害総合演習

【担当教員名】 山岸 達弥 他		対象学年	3	対象学科	言語
		開講時期	後期	必修選択	選択
		単位数	1	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎	◎	◎	○	◎	
【概要・一般目標：G10】 総合実習に備えて、コミュニケーションスキルおよび臨床知識を身につける。					
【学習目標・行動目標：SB0】 1. コミュニケーションに熟練する。 2. 聴覚機能検査を行う。 3. 器質性、機能的構音障害を同定する。 4. 高次脳機能障害者を説明する。 5. 発声発語・嚥下障害を記述する。 6. 失語症を説明する。 7. 臨床上のリスクを同定する。					
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員		
1	コミュニケーションスキルの向上 1	1			
2	コミュニケーションスキルの向上 2	1			
3	コミュニケーションスキルの向上 3	1			
4	聴覚機能評価について	2			
5	器質性、機能的構音障害について	3			
6	高次脳機能障害について 1	4			
7	高次脳機能障害について 2	4			
8	発声発語・嚥下障害について 1	5			
9	発声発語・嚥下障害者について 2	5			
10	発声発語・嚥下障害者について 3	5			
11	失語症について 1	6			
12	失語症について 2	6			
13	失語症について 3	6			
14	リスク管理	7			
15	まとめ	1～7			
【使用図書】	<書名> <著者名> <発行所> <発行年・価格 他> 他専門科目で指定されているテキストを使用する。				
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 演習なので4/5以上の出席を前提とする。		【履修上の留意点】			